

お宝発見！？

高峰小学校校長 板橋 康史

8月某日、あるテレビ番組の企画により、本校に以前あった古い金庫が開けられました。鍵開けのブ
口の手によって、中から姿を現したのは、開校当初からの貴重な学校日誌や予算書類などの古文書の
数々でした。先日、町の郷土資料館を訪問し、学芸員の方にお話を伺うと、昭和13年にはなんと447
名もの児童が本校で共に学んでいたことが分かりました。

高峰小学校は、今日からいよいよ2学期のスタートです。
今学期は嬉しいことに転入生1名を迎え、全校児童はちょうど
「100名」となりました。



かつての447名の大所帯から、現在は100名の一人ひとりの顔が温かく見える学校へと、時代と共
に姿を変えてきました。しかし、人数や時代は変わっても、脈々と受け継がれてきた高峰小の「歴史
と伝統のバトン」は、今のみねっ子たちの笑顔の中に、確かに息づいています。この温かい学び舎
で、子どもたちが新たな目標を胸に、ねばり強く成長していく姿を、今学期も保護者や地域の皆様と
共に温かく見守ってまいりたいと思います。



今後の主な行事予定

9月



- 1日(火) 始業式 下校指導 下校11:00
- 2日(水) 3校時 下校11:45
- 3日(木) 給食開始 身体計測4~6年
- 4日(金) 委員会活動 身体計測1~3年
ぱれっとさん
- 8日(火) 避難訓練
- 9日(水) あすなろ教室 ギュッとday
- 11日(金) 6年修学旅行(12日まで)
- 12日(土) 1~5年授業参観・懇談会
- 14日(月) **振替休業**
- 15日(火) 児童朝会
- 16日(水) 水泳授業 あすなろ教室
- 17日(木) 代表委員会 みねフェス実行委員会
- 18日(金) ぱれっとさん
- 21日(月) **敬老の日**
- 22日(火) **国民の休日**
- 23日(水) **秋分の日**
- 25日(金) クラブ活動
- 29日(火) 4・5年キャンプ(30日まで)

校庭整備

8月29日夏休み最後の土曜日、PTA主催の校庭
整備が実施されました。曇り空の下、児童・保護者・
教職員・地域の方などが集まって校庭及び校地内の環
境整備をいたしました。1週間前には、小沢育成会の
有志の方により草刈りをしていただきました。

ご協力いただいた方々、ありがとうございました。

学力分析

1学期に実施した全国学力状況調査や学力検査の結
果を夏季休業中に分析いたしました。概要を裏面に記
載しましたので、ご一読ください。

随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください。



ホームページ



ブログ

<http://www.aikawa-edu.jp/sch/takamine-es/>

1 学期学力テスト結果のご報告と、家庭での「学び」サポートについて

保護者の皆様、いつも本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
1 学期に実施いたしました「学力調査」および「児童意識調査」の結果がまとまりました。本紙では、テストの事実を丁寧にお伝えしながら、高峰小の子どもたちの素晴らしい「強み」と、これからの「伸びしろ」についてご報告いたします。学校と家庭が手を取り合い、子どもたちの主体的な学びを共に育んでまいりましょう。

高峰小学校長 板橋 康史

1. 高峰小の誇り！「心と生活の確かな土台」（光る強み）

本校の子どもたちは、家庭で非常に愛され、健康な生活習慣の中で育っています。意識調査では、「朝食を毎日食べている」「家の人は自分を気にかけてくれている」「家族が応援してくれている」という質問に対し、なんと100.0%（全国平均を大きく上回る）の児童が肯定的に回答しました。学校に行くのが「楽しい」と答えた子も92.3%に達しています。この「愛されている安心感」と「健康な体」こそが、すべての学びの確固たる土台です。ご家庭での温かい育みに深く感謝いたします。

2. 可能性の宝庫！「2 学期からの伸びしろ」（学習データの事実）

1 学期の学力テストにおいて、国語科は全学年（小 2～小 6）で目標値をクリアするという成果を上げました。一方、全国平均と比較すると、記述問題や応用問題にまだ伸びしろがあります。また、小学校 5 年生の算数は全国比で19.0%（平均正答率 43.8%）と、丁寧な見直しと基礎定着が求められる結果となりました。この背景を探ると、子どもたちの「学習習慣」に明確なヒントが隠されています。以下のデータをご覧ください。

子どもの学習習慣に関する意識質問	高峰小の児童	全国平均	全国との差
テストで間違えた問題は、もう一度やり直している	46.2 %	69.3 %	- 23.1 %
本や新聞を日常的に読んでいる	47.0 %	76.9 %	- 29.9 %

3. 今日からご家庭でできる、2 つの温かいアプローチ

① テストは「点数」より「間違い直し」を褒める！

テストが返ってきた時、「何点だった？」ではなく「間違えたところ、どこを直せた？」と声をかけてみてください。高峰小の子は『やり遂げる責任感（92.3%）』が抜群に高いので、宿題はきちんとやり遂げられます。テストのやり直しを「次の伸びしろを埋める楽しい作業」として捉えられるよう、ご家庭で間違い直しを完了した姿を「よく直せたね、これで次はバッチリだね！」と温かく承認してあげてください。

② リビングに「1 日 5 分」本を開く時間をつくる！

応用問題や記述問題で手が止まってしまう原因の一つに、「言葉の基礎体力（語彙・読解力）」の不足があります。「本を読みなさい」と促すよりも、お父さんやお母さん、ご家族がリビングで静かに本や新聞を広げる姿を見せるのが一番効果的です。1 日 5 分だけでも構いません。「家族みんなで本を開く時間」を少しだけつくり、言葉が自然と飛び交う温かい環境を共につくっていきましょう。

高峰小の子どもたちは、学校とご家庭の深い愛情に支えられ、世界一素晴らしい心の土台を持っています。学校でも、タブレット等の ICT を効果的に取り入れ、ユニバーサルデザイン（UD）に配慮した「誰一人取り残さない授業づくり」に全員で取り組んでまいります。2 学期も、高峰小学校はご家庭と『ワンチーム』となって、みねっ子たちの『確かな学び』と『元気な笑顔』を全力でサポートしてまいります。